ことばのおたより

一般財団法人　三宅医学研究所
てふてふ
令和５年１月

新春のお慶びを申し上げます。
新しい１年が、お子様にとって、また保護者の皆様にとって、笑顔あふれる幸多き年になりますよう、お祈り申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

12 月のことばの教室では、ビニール袋にシールで作った目や口をくっつけて、１人１人にオバケを作ってもらいました。シールを貼るときにお友だちと協力したり、お互いのオバケの顔を見せあったり、あちこちでたくさんの笑顔とコミュニケーションが生まれていました。

１月は昔から親しまれているお正月あそびの１つである福笑いで遊ぼうと思います。

福笑いの由来や起源ははっきりとしていないそうですが、江戸時代の後期に誕生し、明治時代頃に普及したと言われているようです。そして出来上がった面白い顔を見てみんなで笑い合うことから「笑う門には福来る」ということわざのように、新しい１年の幸せを願う気持ちをこめて、お正月の遊びになったと伝えられているそうです。

福笑いには顔の中のどの位置に、目や口があるか頭に思い描くことができるボディーイメージや、「もっと上だよ」など位置関係を伝えたり、理解する能力を高める効果があります。

今月も子どもたち同士のやりとりを大切に取り組もうと思います。